

1 組織体制

(1) 組織・人員

課長(事務) 合計 15名(正職員13名、臨職2名)

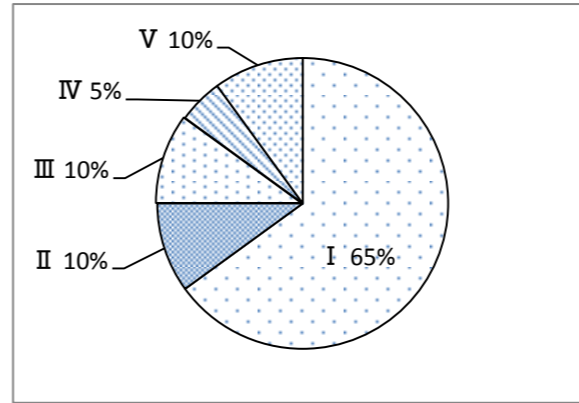
<b>(第一係) 計9名</b>		<b>(係内業務の特色)</b> 係員それぞれが異なる業務を担っており、業務の繁忙時期や事業進捗もそれぞれ異なる。
所掌業務に関する総合的な企画及び調整並びに普及、振興及び指導に関すること 所管する施設の管理に関すること		
係長 1名(事務) 40歳代	係内事務総括	
主任 3名(事務)	} 計画策定、関連団体育成・指導、施設管理(委託、施設予約、使用料、修繕)、審議会 関連、課内庶務 など	
主事 3名(事務)		
技師 1名(建築)		
臨職 1名(事務)	事務補助	

<b>(第二係) 計5名</b>		<b>(係内業務の特色)</b> 主担当となるイベントは各係員異なるものの、規模の大きなイベントは担当者を中心に係員全体で事業を行っている。 休日出勤となる場合が多い。
国際的及び全国的規模等で行われるイベントの招致、企画及び開催に関すること		
係長 1名(事務) 30歳代	係内事務総括	
主査 1名(事務)	} イベント企画・運営	
主任 1名(事務)		
主事 1名(事務)		
臨職 1名(事務)	事務補助	

2 係長業務

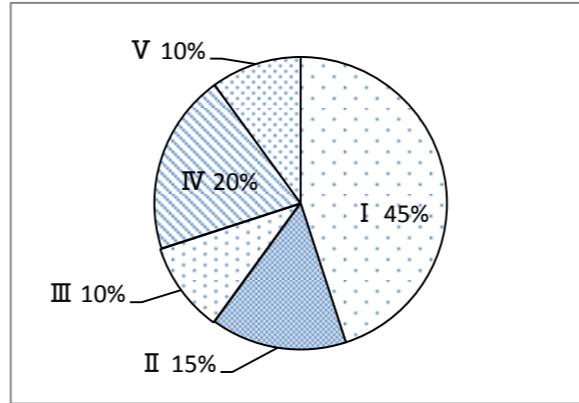
- I. 係内マネジメント業務 II. 上司対応業務 III. 市民対応業務 IV. 連絡調整業務 V. 個別対応

(第一係長) 40歳代



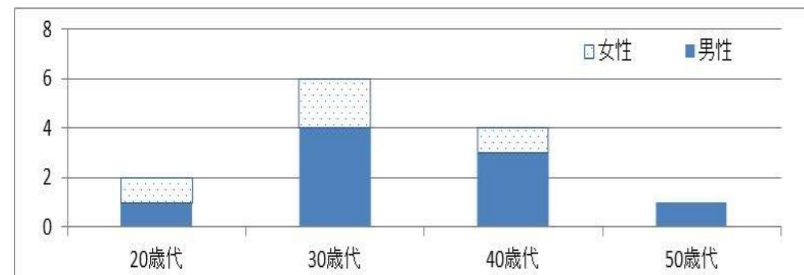
・係内の業務が広く、それぞれの業務に深く関与できる状況ではないが、係員それぞれがしっかりと業務をこなしているため、係内マネジメント業務が大きな負担になっているわけではない。  
・主査のような係長補佐役の職員がいると、係長としての負担は軽減すると思われる。現在は、在課年数3年目の職員がそれに準じた役割を担っている。  
・係の座席の配置が2つに分かれているが、係員が多すぎるという意識はない。

(第二係長) 30歳代



・3年目の主査職員がいるため、若手職員の指導係を担ってもらっている。また、業務分担上も係内で大きく2班に分け、一つの班の取りまとめを主査職員にお任せしている状況である。  
・外部での打合せ等が多く係員が席にいない時間が多い。そのため、係員がこれ以上増えると業務の進捗管理やコミュニケーションなど難しい面が出てくるとと思われる。

(2) 性別・世代別職員構成(正職員)



(3) その他

- ① 1人当たり平均超過勤務時間数  
H27年度 52.7時間/月  
H26年度 65.8時間/月
- ② 平均在課年数  
2.2年(嘱託 -)